

## 令和元年度 第2回 富県地域協議会 会議録

開催日	令和元年11月20日(水)					
開催時間	開会	午後 6時30分			閉会	午後 7時45分
開催場所	富県ふるさと館 集会室					
委員の出欠  出席 11名 欠席 1名		委員氏名			委員氏名	
	1	石原 信行	出	7	北原 和美	出
	2	武井 正昭	出	8	若林 敏明	出
	3	黒河内 哲夫	出	9	伊澤 稔	出
	4	埋橋 良範	出	10	埋橋 和樹	出
	5	田畑 辰雄	出	11	池田 和美	出
	6	下島 一樹	出	12	牛山 喜文	欠
署名委員	10番 埋橋 和樹			11番 池田 和美		
条例第10条の規定により出席した者	伊那市議会議員 田畑 正敏					
市側の出席者						
出席した事務局職員	富県支所長 小松 博康					
協議事項	<p>報告事項</p> <p>① 新たな地域自治区制度の検証について</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 協働のまちづくり交付金事業の中間報告について</p> <p>(2) その他</p>					
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度第2回富県地域協議会協働のまちづくり交付金事業中間報告会次第</li> <li>・ 地域自治区制度の検証について</li> <li>・ 令和元年度伊那市協働のまちづくり交付金【富県地域】選定事業一覧表</li> <li>・ 協働のまちづくり交付金事業各実施者作成報告資料</li> </ul>					

## ■概要

### 1 開会

(事務局) お待たせいたしました。ただいまから、第2回富県地域協議会を始めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議に、12番牛山副会長から欠席の届出がありますので、ご報告いたします。それでは、会議次第により進めさせていただきます。

### 2 会長あいさつ

(事務局) 黒河内会長より、ごあいさつをお願いします。

(黒河内会長) 皆さんこんにちは。5月22日に第1回地域協議会を開催し、伊那市協働のまちづくり交付金事業の選定を行っていただき、本日は中間報告会にお集まりいただきました。それぞれの事業が完了する3月には、3回目の協議会を開催させていただく予定です。本日は報告事項1件と、続いて各事業の進捗をご確認いただくことになっています。宜しくお願いします。

#### 会議録署名委員の指名について

(事務局) それでは会議録署名委員を会長より指名願います。

(黒河内会長) 前回の番号に続き、委員名簿10番の埋橋和樹委員と11番の池田和美委員をお願いします。

### 3 報告事項

(事務局) 報告事項以降は会長が議長になりますので、黒河内会長よろしくお願いいたします。

#### ① 新たな地域自治区制度の検証について

(黒河内会長) それでは報告事項「① 新たな地域自治区制度の検証について」を、事務局より説明願います。

(事務局) (① 新たな地域自治区制度の検証について説明)

(黒河内会長) 市で心配しているのは、それぞれの地域協議会が異なる体制、経過できている中で、特に旧伊那市の地域自治区では既存の組織との関係が曖昧で、存在意義が見いだせないなど、屋上屋を重ねることになってはいけないということのようですが、7月9日の意見交換会では、平成28年度からの見直し後はそれぞれ活発に活動ができていて、意義ある組織となっているとの声が大半でした。また、交付金制度は地域のためにとっても役に立っていて、財政的に実行できないかもしれないが、もっと予算を増やして地域がさらに発展するようにしてほしいといった意見もありました。

補足させてもらいましたが、質問等あればお願いします。  
無ければ協議事項に進めさせていただきます。

#### 4 協議事項

##### (1) 協働のまちづくり交付金事業の中間報告について

(黒河内会長) それでは本題の「(1) 協働のまちづくり交付金事業の中間報告について」を、事務局より説明願います。

(事務局) (協働のまちづくり交付金の中間報告について説明)

(黒河内会長) 今のところ、「にいママクラブ」さんの内定額が20万円だったものが確定額で10万円になったので、他の実績額等を確認しながら全体額を有効活用できるように対応していきたいということよろしいでしょうか。

よろしいですね。それでは選定事業一覧表の順番に申請者の報告をお願いします。時間の都合上一団体5分以内をお願いします。最初は「北福地の昔を訪ねる会」からお願いします。

1、北福地の昔を訪ねる会 代表 吉澤政己さん から「北福地の歴史遺産継承事業(3年目)」の報告あり。

<質疑応答>

(黒河内会長) 質問等ありますか。

(黒河内会長) 諏訪社と八幡社は、神様は異なるのになぜ合祀されたのでしょうか。

(吉澤) 神様が違うということは抜きに、1地区1神社というように明治期に政府が合祀を進めてきた経過があります。

(黒河内会長) 氏子の皆さんはどうなっているんですか。

(吉澤) 北福地の10常会で諏訪社を持っていて、横に並べて南福地と5常会で別に八幡社を祀っています。さらに南福地だけの諏訪神社、池集落だけの日枝社と複雑な管理関係にあります。

(黒河内会長) 引き続き調査を進めてくれているということですがよろしいですか。それでは2番目、桜井の松くい虫防除をお願いします。

2、桜井区長 伊澤稔さんから「松くい虫防除」についての報告あり。

<質疑応答>

(黒河内会長) 夏場の樹幹注入はヤニが出てダメということで11月から作業に入り、11月17日に終了しました。実績は内定額より若干少ない9万3千円だったということですが、質問、意見ありますか。

無ければ、続きまして3番、「地域の食文化の伝承と継承」、「にいママクラブ」の皆さんをお願いします。

3、「にいママクラブ」代表 武村美織さんから報告あり。

10月6日に終了した。日程調整で当初どおりのバスの手配ができず、他をお願いしたことで経費が半額くらいで済みました。

<質疑応答>

(黒河内会長) 五平餅とそば作り体験ということですが、質問等ありますか。

(黒河内会長) この事業の審査の段階で、採択時期と事業実施日のズレがあり、反省事項となっていますので、課題として今後に活かしてもらいたいと思います。

また、「にいママクラブ」については事業が終了し、実績報告もされているということですが、3回目を待たずに本日をもって最終報告としたいということですが、よろしいでしょうか。

そんなことでよろしくをお願いします。それでは、続きまして4番目、地産地消と地域交流をめざしたワンディシェフ事業で新山農家組合の方をお願いします。

4、新山農家組合副組合長の六波羅太さんから報告あり。

<質疑応答>

当初食洗器だけの予定だったが、湯沸かし器も必要とのことで、45万2千円で内示を受けているが、工事など込みで74万円弱掛かる予定。まだ支払っていないが、「にいママクラブ」の余剰分など全額とは言わないが、若干でもまわしてもらえればありがたい。

(黒河内会長) すでに4事業を成功させ、あと1～2回開催したいという話がありましたが質問等あれば出していただきたい。

(黒河内会長) 予算の中でも大きいのが食洗器の関係、10月26日には間に合ったが、それ以前に入れることは難しかったですか。

(六波羅) 給湯器の増設などの課題もあり間に合わなかった。スタッフで手洗いしていたが、食洗器が入ってだいぶ楽になった。

(黒河内会長) 審査の時にも、食洗器はワンディシェフ事業もさることながら、新山の財産として有効活用できるからということだった。

(田畑) 食洗器と給湯器がセットでないと使えないのか。

(六波羅) こちらの勘違いで申し訳ないが、食洗器に給湯器がついていなかった。

(田畑) 専用の給湯器が必要なのか。

(六波羅) 通常の給湯器だが、それがないと洗浄できないことが分かった。

(黒河内会長) 経費の不足する分はどうするつもりなのか。

(六波羅) 農家組合の予備費など自己資金を充てることになると思う。交付金に余裕があれば少しでもまわしてもらいたい。

(黒河内会長) 他にご質問はありますか。ありがとうございます。次5番目、松くい虫被害緊急対策事業ということで新山区長会をお願いします。

5、新山区長会代表の若林敏明さんから報告あり。

<質疑応答>

(黒河内会長) 先日ふるさと館の20周年記念事業で藤原儀兵衛さんの講演を聞いた。富県の松は非常に危機的な状況にあるが、ありがたいことに富県全体ではまだ緑が残っている。残っているうちに何とかしないことにはどうしようもなくなってしまうという話がありました。

その中で新山区長会では新山の共同財産である森林をどうしていくのか、新山がモデルになって富県全体につなげていきたい。今回の事業費の36万円は、マップ化と啓蒙活動を進め、3月には全戸配布したいという説明だったと思う。

(若林) 被害実態が目に見えるようになって、共有していかないと皆の意識が高まらなくて、地権者だけの問題に留まってしまう。皆で守ろうという意識につながればと思います。

今回のデータはかなり精密なので、拡大すると木の一本一本が特定でき、必要なら自分の林班のところを拡大して地図を取り出すことができます。1月にまた学習会を開きますので他地区の皆さんもぜひ参加していただきたいのでよろしくお願いします。

(黒河内会長) 質問等ありますか。鋭意ご尽力いただくということでよろしいでしょうか。

では、最後になりますが「中山間に大輪を咲かせる向日葵プロジェクト」、「にゅうやま向日葵プロジェクト」の方をお願いします。

6、にゅうやま向日葵プロジェクト石原信行さんからプレゼンあり。

予算が43万8千円ということでしたが、だいぶ節約しまして決算額は22万3千円くらいになる予定で、内定額が20万9千円ということだったので少し出るくらいかなと思っています。

<質疑応答>

(黒河内会長) ご質問、意見ありますか。

(黒河内会長) 来訪者600名というのはどんな時に来られているんですか。

(石原) イベントなどの参加者でなく、日常的に見学に見えた延べ人数。

(黒河内会長) 成果のところにもありますが、この企画をやってよかったということですね。

(石原) そのとおりです。

(事務局) 今お聞きする中で、決算で22万3千円余ということですが、事業は終了したということでもよろしいですか。実績報告を出していただければと思います。

(石原) 本日持ってきています。

(事務局) ありがとうございます。そういうことになれば、「にゅうやま向日葵プロジェクト」も多少はあると思いますが、「にいママクラブ」の余剰分は、今のところ主には新山

農家組合と調整させていただくということで、後でご意見をいただきたいと思います。  
(黒河内会長) 作付けた面積はどのくらいですか。

(石原) 結果として5.5aでした。

(黒河内会長) よろしいですか。それでは6団体の内「にいママクラブ」と「桜井区」、「にゅうやま向日葵プロジェクト」が事業を終了したということで、本日をもって最終報告にしていこうということでよろしいでしょうか。

あと、支所長から話があった、「桜井区」、「にいママクラブ」の交付金内定額の残金について、どのようにしていったらよいかご意見ございますか。

(田畑) 私が区長をやっているときもそうだったが、これは全部使い切った方が良い。市に返すと次の時に減らされるということも考えられる。必要なところに充ててもらいたい。

(黒河内会長) 実施率というものもあるようです。事業途中のところ、交付金が不足しているところもあり、100%充てられないでいるところもあります。本日詰め切れないので、最終決定は現区長会に進めていただくということでどうですか。

#### 【異議なしの声】

(黒河内会長) それではよろしく申し上げます。以上で協働のまちづくり交付金事業の中間報告を終わりにしたいと思います。

## (2) その他

(黒河内会長) 「(2) その他」について、事務局で何かありますか。

(事務局) 特にありません。

(黒河内会長) 全体を通して、委員の皆さんから何かありましたら。

無ければ以上で協議事項は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

(事務局) 会長さんには長時間議事進行ありがとうございました。

## 5 閉会

(事務局) 以上をもちまして、第2回富県地域協議会を閉会とさせていただきます。

本日は、長時間ありがとうございました。